

未来づくりワークショップ



会場・門真市立門真みらい小学校体育館

11/19開催「キタショウカーニバル」振り返りとこのまちのコンセプトを考えるワークショップ

令和4(2022)年12月3日(土)に、門真市立門真みらい小学校体育館にて、「旧門真市立北小学校跡地未来づくりワークショップ」の第3回を開催しました。今回は、11月19日(土)におこなわれた「キタショウカーニバル」の振り返りかねて、プログラム参加者に話をうかがいました。さらに、初回からこのワークショップのサポート役を担っている、関西大学の学生のみなさんが自主的に用意した「私たちが考えるこのまちのコンセプトーキタショウカーニバルに参加してー」の提案がありました。門真市が持つ資源や課題を踏まえ、以前からの綿密なリサーチを組み合わせ、旧北小学校跡地の活用計画のアイデアを示すというものです。その後、学生さんの発表を受けて、グループワークをおこないました。旧北小学校跡地周辺がどんなエリアになってほしいのか、まちのコンセプト(大きな方向性)となるものを参加者のみなさんと考えました。

4 全体発表・共有 「どんなエリアにしたいか、まちのコンセプトを考えよう」でいただいた 主な意見をいくつか仕分けしてみました。

交流について

同窓会ができる場所
定期的なイベントの会場に
人が集まる
人の賑わいが感じられる場所に
世代間交流(遊び)
世代間交流のため
みんなが集まれるような素敵な場所がある街
若者(大学生)の子らが集まれる場所
高齢者の方と子どもをつなげる体験ができる場所

文化・歴史について

船や紡績の機械を残す場所
歴史を大事にしたい
いままでの北小の思い出も残してほしい
地域に根付いてきた文化を継承できる場所
アルバムのような場所
文化向上(文化不毛の地帯といわれていた)
知らない文化に出会える
高齢者が子どもたちにわらべ歌などを伝える
音楽のあふれる空間
多くの趣味があふれる街
学校の一部を残す、歴史

まちづくりについて

みんなが帰ってこれる場所
おじさんが喜ぶ飲食街
程よくローカルであってほしい
みんなで一緒に作ったといえるような街
みんなが街を誇れる街
徒歩圏内で生活できる街
カラオケ音楽の街
子どもと高齢者が仲良く暮らせるまち
隣に住む人、家族、友人
顔見知りを増やす(いい意味で)
こども園の創設、専門学校の創設、若者が集える街
門真市全体のモデルケースとなるような場所

防犯・防災について

まちに明かりを
周辺の空き家も巻き込んで
夜安心して歩ける街に
高齢者や子どもたちが安全安心で暮らせる街に
災害に強い北小エリア
何かあれば、何があっても 安心感

施設・設備について

校舎の利活用
広い公園

子育て・育児について

子育てを支援できるイベント
子供が遊べる場所に
子どもたちがのんびり遊べる場所
不登校児、親の居場所
より子育てしやすく、助け合える街
母子家庭、父子家庭を援助できる場所に
現在の子どもたちが抱えている問題を解決できる場所に

学びについて

大学のサテライト、学生が門真に来る場所であってほしい
学生が子どもに教える場
動物と触れ合う、地域食堂の一環として食育と生態系を学ぶ
昔ながらの遊び道具で
学びの場

商業・経済について

企業誘致
ドローンの街
商業施設
→小さな商店街的な場所で今回のようなWSができるような場所
空間の創出
人、行政、企業のマッチング活性
門真に拠点を置く中小企業の支援できる場所に

自然・農について

実験場(水耕栽培など)
住民菜園+地域食堂(ごみ、コンポスト、循環)
森と水
牧場を作って門真牛
池を作る+公園化

健康・スポーツについて

校舎の利活用
広い公園

日常について

普段から気軽に使える場所
天気に左右されない施設
若い世代が住みたいと思う街に

活用実験後の予定

第4回ワークショップ

令和5(2023)年1月21日(土)
13:30-16:00
門真市立門真みらい小学校 体育館

門真市 HP



振り返り

旧門真市立北小学校跡地の活用方法を検討するための実験「キタショウカーニバル」が11/19に開催されました。当日は天候にも恵まれ、600名近い方にご来場いただき、老若男女たくさんの方々に楽しんでいただくことができました！



カーニバルに出店・参加されたみなさんに一言ずついただきました。より多くの市民にこの取り組みに関心を持ってもらう周知方法や当日運営など、今後に向けての課題もさまざま見つかりました。

発表

「私たちが考えるこのまちのコンセプト—キタショウカーニバルに参加して—」

初回からワークショップに参加している、関西大学都市設計研究室の学生さんからプレゼンテーションがありました。キタショウカーニバルを経て、考えたことを門真市のさまざまなリサーチを踏まえ、このエリアの将来像について、建築設計とエリアマネジメントの面からの提案をしてくれました。

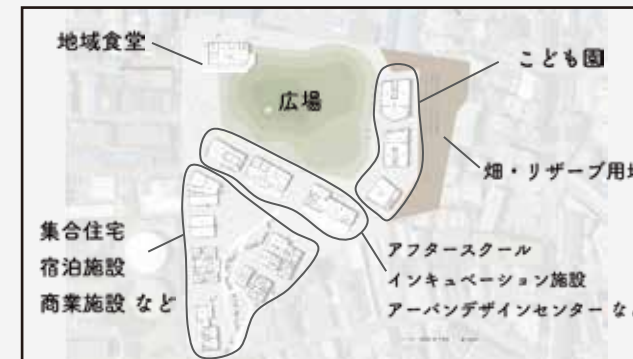


実際に提案された模型の展示もありました。

▼2で使用されたスライド資料の一部

○目次

- I: コンセプト1「北小学校をコミュニティハブとして活用する」
- II: コンセプト2「北小学校で災害を緩和する」
- III: コンセプトが実現した北小学校の未来を描きました！
- IV: どのように運営するのかも考えてみました！



“門真市で暮らすこと”と
“門真市をつくる”ことで門真市を盛り上げる

スポンサー
行政 × 地域企業 × 大学 × 地域住民
門真市 関西大学

アーバンデザインセンター門真

ワーク

「どんなエリアにしたいか、まちのコンセプトを考えよう」



発表を受け、旧北小学校周辺がどんなエリアになってほしいのか？グループワーク形式で議論していきました。

全体発表・共有



次面に発表内容をまとめました！